

ひょうごの強みを生かすブランド化技術の開発

当センターでは農林水産振興施策と連動して、「農林水産物のブランド化に直結した技術開発」に取り組んでいます。今回、特集として農業技術センター園芸部門からイチゴ高設栽培に適した品種、トマト黄化葉巻病耐病性品種、淡路農技からストック

の省力的新品種、中晩生カンキツ新品種、カーネーションの冬期低温栽培を紹介します。「農林水産物ブランド化の推進」の一助になれば幸いです。

青山 喜典（淡路 農業部）
（問い合わせ先 電話：0799-42-4880）

ストックの八重鑑別が不要な省力的新品種の選定

ストックの八重鑑別には10a当たり約93時間を要し、熟練した技術が必要とされる。最近、八重鑑別が不要で約80～90%以上が八重咲となる、いわゆる無鑑別種が各種苗会社から発売されており、新規無鑑別種の淡路地域への適否について調査を行ったところ、「ホワイトコランダム」が最適であった。

内 容

6品種（既存品種：ホワイトアイアン、雪波、ホワイトレボリューションII、新規品種：ホワイトコランダム、ホワイトサーフ、ホワイトビーチ。ホワイトアイアン、雪波が鑑別種、その他は無鑑別種。）を2010年8月10日に播種し、9月6日に温室内に定植した。10月4日と10月12日にプロヘキサジオンカルシウム塩水和剤（植物成長調整剤：ピピフルフロアブル）1000倍液を1a当たり10リットル散布し、その他の栽培管理は慣行に従った。

白の主要品種である「ホワイトアイアン」と比較すると、今回調査した新規3品種は切り花長は長く、花穂長も長かった。切り花重では「ホワイトコランダム」、「ホワイトサーフ」が軽く、「ホワイトビーチ」が重かった。

葉数は3品種とも少なく、開花日は3品種とも早かった（表）。「ホワイトコランダム」は切り花重は軽いものの比較的締まった草姿で、既存品種の「ホワイトアイアン」に似ており、有望品種であった。一方、「ホワイトサーフ」、「ホワイトビーチ」はやや間延びしていた（写真）。

普及上の注意事項

八重鑑別が不要で省力的な新規栽培品種として、淡路地域で現場への普及を進める。

石上 佳次（淡路 農業部）
（問い合わせ先 電話：0799-42-4880）

表 ストック（切り花）品種特性

品 種（鑑別の有無）	切り花長 (cm)	花穂長 (cm)	切り花重 (g)	葉数 (枚)	開花日 (月/日)
ホワイトコランダム 無鑑別種	67.9	12.9	88.9	48.9	11/12
ホワイトサーフ //	80.6	12.7	91.0	45.1	11/5
ホワイトビーチ //	87.2	14.0	134.7	58.1	11/8
ホワイトレボリューションII //	80.6	13.3	119.3	44.9	11/8
ホワイトアイアン 鑑別種	66.1	10.0	120.6	59.8	11/25
雪 波 //	79.5	12.8	140.4	49.4	11/12



写真 供試6品種の収穫時の草姿